



ぬくもりを渡す

師走になりました。校長室の入り口に100均で買った小さなクリスマスツリーのオーナメントを飾りました。

毎朝、校長室前のホワイトボードに今日のメッセージを書きます。2年のS君が毎朝教室に入る前にホワイトボードの今日の日付と曜日を書き入れ、校長室前の日めくりカレンダーを1枚破っておいてくれます(かつては彼のお兄さんのRくんがメッセージを書いてくれていました)。

今日私が書いたメッセージは「自分の人生を贈り物にする」です。

大学病院の「がん哲学外来」という科のお医者さん・樋野興夫(ひの・おきお)さんが書いた『明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい』(幻冬舎新書)という本の一節にあった言葉です。

日々、たくさんのがんの患者さんと接し、話してこられた樋野さん。『人生を贈り物にする』とはどういう意味なのでしょうか。一節を紹介しましょう。

「患者さんの中には、よい贈り物を残して去って行った人がたくさんいます。

『がんになっても生きる希望を捨てない』 『自分のことよりもまず相手のことを思いやる』

(中略)自分の生涯を一つのモデルとして提供する。そのことで、『あのとき、あのひとはがんばっていた。だから自分ももう少しがんばってみよう』と誰かを勇気づける。これがお金やモノではなく、記憶に残る贈り物です。

すべての人に贈り物を残すことはありません。最後まであなたに关心を持ち、最後まで寄り添い、見捨てなかつた人だけに残せれば十分です。」

先日、大学の先生が参観する中で、9年生はこの時期恒例の「大原に残したい伝統とはなにか」の話し合い授業をしていました。議論はいつの間にか「卒業式」にまとまりはじめます。去年の卒業式、証書を受け取るNさんに自然に拍手が湧き上がった時の感動。送辞にも答辭にも学院生みんなの温かい思いやメッセージがあふれていて号泣してしまった。もう、卒業したくない、なんなら高校まで大原に作ってしまえば、などという意見まで飛び出し、「みんながどれだけ大原学院のことが好きかということが分かりました」(Mさん)。

T君は「誰かの感想でつながったというより、全体がもとからつながっている気がする。」と言います。そして「小中一貫であることで全ての活動がつながって構成されていて最後の『提言』『卒業式』になるんだと思う。」とまとめました。慧眼だと思います。

参観していた大学の先生が「残したいものと言うよりあればきっと自分たちの誇りなんだろうね。」とおっしゃったそうです。9年生が「誇り」と願うもの。それは、卒業生から手渡される鮮やかな記憶の贈り物。自分たちもまた卒業生にとってきっと「贈り物」になりうる温かいたくさんのエピソードと一緒に創り上げることができたのではないか、というささやかな自信。そしてそれらを式のあらゆる場面での、温かいやりとりつながりの中で感じることができたことなのではないでしょうか。

こんなすてきな話し合いができる9年生の学校生活は、間違いなく学院生や自分たち自身に対して「自分の人生を贈り物に」できていると実感します。その自信の上でこの冬、どうぞ自身の進路実現にとって『贈り物』になるような努力をして下さい。私はこの言葉を心に刻んで春を待っています。

「卒業証書を渡すのではなく、ぬくもりを渡すんです」(永六輔・朝日新聞『折々の言葉』2023・3・3)

令和7年度



12月行事予定



日	曜	学校行事・PTA・地域・保健行事など
1	月	素読教室
2	火	(昼)本部
3	水	学校保健委員会 歯科検診 フッ化物洗口 合同部活動
4	木	田原小中学校交流5・6年(来校) 1・2年生遠足
5	金	ふれあいタイム⑦ (昼)中央委 ⑤⑥大根収穫(8年)
6	土	もちつき大会
7	日	大根朝市販売(8年)
8	月	素読教室
9	火	本部(昼)
10	水	合同部活動 フッ化物洗口 諸費引落日
11	木	マラソン前日準備 ⑥専門委員会
12	金	全校マラソン大会 学校運営協議会
13	土	しめ縄リース教室
14	日	
15	月	クラブ活動⑧ 素読教室 学校安全の日 放課後まなび運営委員会
16	火	(昼)本部 PTA運営委員会
17	水	フッ化物洗口 (昼)エンニコタイム 合同部活動 巡回文庫
18	木	
19	金	科学センター学習(にじいろ8年) ①②かぼちゃ供養 寂光院(1~4年) 個人懇談(5校時)
20	土	
21	日	
22	月	④町別児童会(1~6年) 個人懇談(1~4年 4校時 掃除あり 13:50下校 5~9年 5校時)
23	火	前期B集会 個人懇談 4校時(掃除あり 13:50下校)
24	水	①終業式・大掃除 ②ロック集会(③後B,④中B) 給食終了 4校時(掃除なし 13:20下校) 左京支部生徒会交流会(14:00~15:00)
25	木	授業予備日 ↑24日(水)は、古紙回収です。 この印刷物が不要になれば 「雑がみ」として古紙回収へ！ 諸費引落日(再)
26	金	授業予備日
27	土	
28	日	
29	月	学校休業日
30	火	学校休業日
31	水	学校休業日
1月の主な予定		21(水)出前授業(京象嵌) 5・6年
7(水)始業式・給食開始		21(水)~ 学年末テスト 9年
13(火)~ ジョイントプログラム 4~6年		21(水)~ 学習確認プログラム7・8年
14(水)避難訓練		28(水)オーケストラ入門 8年
16(金)学習参観・懇談会・京都大原学院作品展		28(水)三千院学習報告会 5年
20(火)宮島学園 8年 来校		29(木)演劇鑑賞教室 6年

収穫祭 11月7日(金)

学院生が楽しみにしていた収穫祭を実施しました。この日に向けて、縦割り班ごとにメニュー・役割を話し合い、準備を進めてきました。

当日は、各学年が育てた食材を使った野外炊事に挑戦。1・2年生は、春から育ててきたサツマイモを収穫し、焼き芋の準備を担当。3・4年生は、ジャガイモ・玉ねぎ・ニンジンの栽培・収穫に加え、収穫したお米の計量・米研ぎ・炊飯も担当しました。5~9年生は、縦割り班で考えたメニューづくりに挑戦。ほとんどの班がカレーを選び、ハヤシライスを作った班もありました。



調理の過程では、上手に仕上がった班もあれば、スープのようなカレーになった班もありましたが、どの班も工夫を凝らし、協力して作り上げた料理を囲んで「いただきます！」。食べ終わった後は、みんな笑顔で「ごちそうさま」を言うことができました。

地域や保護者の皆様にもご参観いただき、子どもたちの頑張りを見守っていただきありがとうございました。収穫の喜びと仲間と過ごす楽しさを感じられる、心温まる一日となりました。

「大原提言」発表会 9年生 11月12日(水)



大原学院が1年生から積み重ねてきた「大原提言」の発表会を今年も三千院円融房で開催しました。9年生は最後まで資料や発表を磨き上げ、緊張しながらも堂々と発表。地域の未来を真剣に考えた提言が並び、中でも「子どもが地域の土台です」という言葉が多くの方の心に響きました。

当日は学院生や保護者、地域の方々など約100名が参加。子どもたちが自ら考え、地域の未来を語る姿は、地域と子どもたちが共に歩む未来を感じる時間となりました。

ご参観いただいた皆様、ありがとうございました。



お店屋さんごっこ(わらんべ交流) 6年生 11月20日(木)



小野山わらんべさんと6年生が「お店屋さんごっこ」を通して楽しく交流しました。6年生はわらんべの皆さんに寄り添い、絵本を読んだり、アイスクリームを買ったり、パフェを注文したりと、笑顔あふれる時間を過ごしました。同じ目線で関わることで、心温まるひとときとなりました。

研究報告会 11月21日(金)

今年の研究報告会では、研究テーマ「自然や生活からの学びを通じて、柔軟な思考力を育む小中一貫教育～『考える子ども』の育成をめざして～」のもと、1年（生活）7年（英語）8年（社会）で授業がありました。

体育館での全校合唱では、声を合わせる喜びを分かち合い、学





年を超えた一体感が生まれました。公開授業では、生活科・社会科・英語科それぞれで、子どもたちが自然や生活に根ざした課題に向き合い、自分の考えを仲間と交流しながら深める姿が印象的でした。

全体会での9年生による「大原提言」では、地域の未来を真剣に考え、自分たちの言葉で発信する姿に、参観者から「子どもたちの思いがしっかり伝わった」との声をいただきました。

前日の合同清掃にご協力いただいた保護者・地域の皆様のおかげで、子どもたちは気持ちよく発表に臨むことができました。本当にありがとうございました。



もうすぐマラソン大会です！

12月9日(火)にマラソン大会を予定していましたが、学級閉鎖に伴う子どもたちの体調を考慮し、12月12日(金)に延期いたします。楽しみにしてくださっていた皆様にはご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

グループ	学年	コース	スタート時刻
D	7~9年生の男子	学校→井出町農道×2周 →野村町交差点→学校	11:05
C	5・6年生	学校→井出町農道 →野村町交差点→学校	11:10
	7~9年生の女子	学校→草生町農道→JA横 →野村町交差点→学校	
B	3・4年生	学校→草生町農道→JA横 →野村町交差点→学校	11:15
A	1・2年生	草生町農道・大原工房横→親水公園 →里の駅裏→学校	11:25

大会は、11時05分からグループごとに順次スタートします。沿道からのご声援をお願いいたします。

作品展への出品を募集します(PTA・地域の皆様)

1月16日(金)～19日(月)に、京都大原学院作品展を開催します。学院生の作品を講堂で展示しますが、今年度もPTA・地域の皆様の作品を展示できたらと考えています。絵画や写真、手芸作品等々たくさん出品してください。保護者の皆様は、配布する出品票と一緒に、職員室へ直接持ってきてくださいか、学院生にお持たせください。地域の皆様も直接お持ちいただき、学校までご連絡ください。申込〆切は1月9日(金)作品搬入は1月7日～1月14日の間にお願いします。どうぞよろしくお願ひ致します。

京都大原学院 744-2004

地域とともに歩んだ17年—教育功労者表彰受賞 11月18日(火)

本校は設立から17年、保護者や地域の皆さんに支えられながら、子どもたちの学びを深める教育活動を続けてきました。

「大人になる科」の授業をはじめ、大原探究や大原提言、学校農園での栽培活動、運動会、三千院学習、百井登山、マラソン大会など、数々の行事や取り組みを通して、地域と学校が一体となり、子どもたちを育んできました。

こうした実践が高く評価され、このたび京都市教育委員会より「第77回教育功労者表彰」をいただきました。この表彰は、学校だけでなく、大原地域全体の皆さまのご協力とご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。そして、この喜びを皆さんと分かち合いたいと思います。

大原の皆さん、本当におめでとうございます！

なお、表彰状は本校玄関に掲示しております。ご来校の際にはぜひご覧ください。